

生後3～4ヶ月の乳児をもつ母親の 育児ストレスとコーピング特性

瀧 愛美 氏

三重県立看護大学大学院看護学研究科
生涯看護学分野 小児看護領域 大学院生



要旨

生後3～4ヶ月の乳児をもつ母親の育児ストレスとコーピング特性の実態を明らかにすることを目的とした。生後3～4ヶ月の乳児をもつ母親に対し、質問紙調査を実施した。三重県立看護大学倫理審査委員会の承認を得て行った（通知書番号166302）。質問紙を配布した408名のうち、276名を有効回答とした（67.6%）。育児ストレス得点は、専業主婦、年齢が35歳以上、既往歴・妊娠中の治療歴がある母親の得点が、対照群に比べ有意に高かった。育児ストレス得点と、コーピング特性の「解決のための相談」、「気分転換」得点に負の相関があり、「他者を巻き込んだ情動発散」、「回避と抑制」得点に正の相関がみられた。専業主婦、年齢が35歳以上、既往歴・妊娠中の治療歴がある母親の育児ストレス得点が、対照群に比べ有意に高かった結果から、専業主婦、年齢が35歳以上、既往歴や妊娠中の治療歴がある母親の身体・精神状態に注意し、育児ストレス軽減のための援助を行う必要があると考えられた。育児ストレス得点とコーピング特性の得点の正の相関関係の結果から、「他者を巻き込んだ情動発散」、「回避と抑制」のコーピング方略を多く用いる母親ほど、育児ストレスが高い傾向にあることが考えられた。また、負の相関関係の結果から、母親が「解決のための相談」や「気分転換」のコーピング方略を用いることは、育児ストレス軽減につながる傾向にあることが示唆された。

I. 目的

生後3～4ヶ月の乳児をもつ母親の育児ストレスとコーピング特性の実態及び関連を明らかにする。

II. 研究方法

1. 対象者

対象者は、生後3～4ヶ月の乳児をもつ母親である。

2. 調査項目

調査項目は、母親の属性、育児ストレス、コーピング特性である。母親の属性として、年齢、職業、出産経験、母親の既往歴・妊娠中の治療歴、育児協力者の有無等を尋ねた。育児ストレスの測定には、日本語版PSI（日本語版Parenting Stress Index：以下PSI）を用いた。コーピング特性はBSCP（Brief Scales for Coping Profile：以下BSCP）を使用した。

3. データの収集方法

協力施設の1ヶ月健診に訪れた母親に調査協力を依頼し、児の月齢が3～4ヶ月の時期に質問紙調査を実施した。研究対象者への調査依頼期間は平成29年1月～平成29年6月、調査用紙配布期間は平成29年3月～平成29年8月、調査用紙回収期間は平成29年3月～平成29年9月であった。

4. 分析方法

母集団を、属性の項目ごとに2群に分け、各群のPSI得点およびBSCP得点のt検定を行った。また、PSI得点とBSCP得点の相関係数を算出した。

5. 倫理的配慮

本研究への同意は自由意思に基づくものであること、個人情報保護について対象者へ伝えた。本研究は、三重県立看護大学倫理審査委員会の承認を得て行った（通知書番号166302）。

III. 結果

1. 対象者の概要

408名のうち、289名から質問紙を回収し、質問項目の記載漏れ等のない276名を有効回答とした(有効回答率67.6%)。母親の年齢は20代が91名(33.0%)、30代が175名(63.4%)であった。母親の職業は有職者が147名(53.3%)、専業主婦が129名(46.7%)であった。初産婦が134名(48.6%)、経産婦が142名(51.4%)であった。

2. 母親の属性とPSI得点およびBSCP得点の関連

1) 母親の属性の項目ごとのPSI得点の平均値の比較

母親の属性の項目ごとのPSI得点のt検定において、母親の年齢(35歳未満か35歳以上)、母親の職業の有無、母親の妊娠前の既往歴の有無、母親の妊娠中の治療

歴の有無の項目について、有意な差がみられた(表1)。

2) 母親の属性の項目ごとのBSCP得点の平均値の比較

母親の属性の項目ごとのBSCP得点のt検定において、夫以外の育児協力者があるの母親のBSCP「解決のための相談」得点(9.8±2.0)は、夫以外の育児協力者がなしの母親の得点(9.2±2.0)に比べ、有意に高い結果となった(p=0.009)。

3. PSI得点とBSCP得点の関連

PSI得点とBSCP得点の相関係数を算出した結果、PSI得点とBSCP「解決のための相談」、「気分転換」得点に負の相関があり、「他者を巻き込んだ情動発散」、「回避と抑制」得点に正の相関がみられた(表2)。

表1 母親の属性の項目ごとのPSI得点の平均値の比較

項目	母親の年齢				職業の有無				母親の妊娠前の既往歴				母親の妊娠中の治療歴							
	35歳未満		35歳以上		有職者		専業主婦		なし		あり		なし		あり					
	(n=214)		(n=62)		(n=147)		(n=129)		(n=240)		(n=27)		(n=259)		(n=17)					
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差				
PSI得点	167.4	± 36.6	177.7	± 35.6	0.051	165.3	± 36.0	174.8	± 36.7	0.032 *	168.2	± 35.8	183.2	± 41.4	0.044 *	168.3	± 36.4	191.5	± 33.2	0.011 *
子どもの側面	71.6	± 17.8	79.5	± 18.7	0.009 **	71.6	± 17.7	75.0	± 18.6	0.113	72.7	± 18.2	77.6	± 18.1	0.188	72.4	± 18.1	84.9	± 16.0	0.006 **
C1親を喜ばせる反応が少ない	95.7	± 22.1	99.2	± 20.8	0.267	93.7	± 21.2	99.7	± 22.1	0.022 *	95.5	± 21.2	105.6	± 25.1	0.022 *	95.9	± 21.6	109.6	± 22.4	0.049 *
C2子どもの機嫌の悪さ	10.7	± 2.8	11.1	± 3.3	0.387	10.8	± 2.8	10.9	± 3.1	0.806	10.8	± 2.9	10.9	± 3.0	0.857	10.8	± 2.9	12.0	± 3.8	0.088
C3子どもが期待どおりにいかない	14.6	± 5.1	16.6	± 4.8	0.005 **	14.6	± 5.0	15.5	± 5.1	0.153	14.9	± 4.9	16.4	± 6.2	0.209	14.8	± 5.0	17.5	± 5.7	0.038 *
C4子どもの気が散りやすい/多動	8.8	± 3.3	9.6	± 3.5	0.076	8.8	± 3.2	9.1	± 3.5	0.457	8.9	± 3.4	9.6	± 3.1	0.305	8.8	± 3.3	10.8	± 3.6	0.018 *
C5親につきまとう/人に慣れない	11.5	± 3.7	12.5	± 3.8	0.085	11.3	± 3.8	12.2	± 3.6	0.046 *	11.8	± 3.8	11.6	± 3.7	0.744	11.6	± 3.7	13.1	± 2.8	0.113
C6子どもに問題を感ずる	10.1	± 3.4	11.4	± 3.4	0.007 **	10.1	± 3.2	10.8	± 3.6	0.113	10.3	± 3.4	11.1	± 3.2	0.257	10.3	± 3.4	11.7	± 2.3	0.031 *
C7刺激に敏感に反応する/ものに慣れない	7.1	± 2.8	7.9	± 2.7	0.045 *	7.1	± 2.7	7.4	± 2.8	0.346	7.1	± 2.8	8.1	± 2.6	0.071	7.1	± 2.7	8.1	± 3.1	0.004 **
C8刺激に敏感に反応する/ものに慣れない	8.9	± 3.1	9.4	± 3.0	0.234	8.8	± 2.9	9.2	± 3.2	0.315	8.9	± 3.0	9.8	± 3.0	0.162	8.9	± 3.1	10.6	± 2.1	0.004 **
P1親役割によって生じる規制	21.2	± 5.8	21.8	± 5.6	0.489	20.3	± 5.7	22.4	± 5.5	0.002 **	21.1	± 5.7	22.9	± 6.1	0.132	21.1	± 5.7	23.9	± 6.0	0.056
P2社会的孤立	14.7	± 5.2	14.3	± 5.0	0.607	14.0	± 5.0	15.4	± 5.3	0.027 *	14.4	± 5.2	16.4	± 5.1	0.062	14.5	± 5.2	16.3	± 5.3	0.174
P3夫との関係	10.6	± 4.3	10.7	± 4.3	0.914	10.5	± 4.1	10.8	± 4.5	0.592	10.6	± 4.3	11.1	± 4.4	0.523	10.6	± 4.3	11.6	± 5.0	0.324
P4親としての有能さ	19.6	± 4.3	20.7	± 4.1	0.065	19.6	± 4.0	20.2	± 4.5	0.209	19.7	± 4.1	21.5	± 4.0	0.029 *	19.8	± 4.3	20.9	± 4.0	0.282
P5同僚・友達関係	8.8	± 3.5	10.0	± 3.3	0.011 *	8.8	± 3.4	9.4	± 3.5	0.131	8.9	± 3.3	10.7	± 4.2	0.009 **	9.0	± 3.4	10.4	± 3.8	0.110
P6退院後の気持ち	8.4	± 3.7	8.6	± 3.5	0.765	8.2	± 3.6	8.7	± 3.7	0.339	8.3	± 3.6	9.8	± 4.0	0.040 *	8.3	± 3.6	10.4	± 4.0	0.026 *
P7子どもに愛着を感じにくい	5.5	± 2.2	6.0	± 2.3	0.096	5.7	± 2.2	5.6	± 2.2	0.810	5.6	± 2.1	5.8	± 2.7	0.701	5.6	± 2.2	6.4	± 2.4	0.158
P8健康状態	6.8	± 2.6	7.1	± 2.8	0.433	6.7	± 2.6	7.0	± 2.7	0.262	6.8	± 2.6	7.3	± 2.9	0.317	6.9	± 2.6	6.8	± 2.7	0.894

t検定 *p<0.05, **p<0.01, ***p<0.001

表2 PSI得点とBSCP得点の相関係数 (n=276)

項目	解決のための相談		気分転換		他者を巻き込んだ情動発散		回避と抑制	
	相関係数	有意率	相関係数	有意率	相関係数	有意率	相関係数	有意率
PSI得点	-0.189	0.005 **	-0.135	0.010 **	0.259	<0.001 ***	0.304	<0.001 ***
子どもの側面	-0.147	0.015 *	-0.115	0.056	0.188	0.002 **	0.254	<0.001 ***
親の側面	-0.161	0.007 **	-0.165	0.006 **	0.278	<0.001 ***	0.298	<0.001 ***
C1親を喜ばせる反応が少ない	-0.203	<0.001 ***	-0.145	0.016 *	0.132	0.028 *	0.218	<0.001 ***
C2子どもの機嫌の悪さ	-0.037	0.538	-0.045	0.456	0.167	0.009 **	0.264	<0.001 ***
C3子どもが期待どおりにいかない	-0.051	0.396	-0.087	0.150	0.200	<0.001 ***	0.163	0.007 **
C4子どもの気が散りやすい/多動	-0.101	0.095	-0.076	0.210	0.052	0.389	0.084	0.163
C5親につきまとう/人に慣れない	-0.167	0.005 **	-0.107	0.076	0.135	0.025 *	0.213	<0.001 ***
C6子どもに問題を感ずる	-0.108	0.073	-0.099	0.101	0.145	0.016 *	0.173	0.004 **
C7刺激に敏感に反応する/ものに慣れない	-0.155	0.010 **	-0.076	0.200	0.163	0.011 *	0.191	0.001 **
P1親役割によって生じる規制	-0.058	0.333	-0.125	0.037 *	0.162	0.007 **	0.201	<0.001 ***
P2社会的孤立	-0.284	<0.001 ***	-0.192	0.001 **	0.264	<0.001 ***	0.290	<0.001 ***
P3夫との関係	-0.133	0.027 *	-0.047	0.434	0.211	<0.001 ***	0.251	<0.001 ***
P4親としての有能さ	-0.041	0.499	-0.106	0.080	0.218	<0.001 ***	0.271	<0.001 ***
P5同僚・友達関係	-0.092	0.127	-0.050	0.411	0.302	<0.001 ***	0.220	<0.001 ***
P6退院後の気持ち	0.005	0.937	-0.064	0.286	0.160	0.008 **	0.179	0.003 **
P7子どもに愛着を感じにくい	-0.074	0.219	-0.104	0.084	0.112	0.064	0.133	0.027 *
P8健康状態	-0.152	0.011 *	-0.164	0.006 **	0.011	0.858	0.019	0.759

ピアソンの積率相関係数 *p<0.05, **p<0.01, ***p<0.001

IV. 考察

母親の属性ごとの育児ストレス得点の平均値の比較の結果から、専業主婦、35歳以上の母親、既往歴および妊娠中の治療歴のある母親の身体・精神状態の把握、産後の育児支援状況を確認し、育児支援事業の情報提供や家族への育児協力を促す教育的支援など、母親の育児ストレス軽減のための援助を行う必要性が示唆された。

育児ストレス得点とコーピング特性の得点の負の相関関係の結果から、母親が「解決のための相談」や「気分転換」のコーピング方略を用いることは、育児ストレス軽減につながる傾向にあることが示唆された。産後、母親が医療者や他の母親と関わり、育児についての相談や気分転換ができる機会を提供することも母親の育児

ストレス軽減のための有用な支援のひとつと考えられた。育児ストレス得点とコーピング特性の得点の正の相関関係の結果から「他者を巻き込んだ情動発散」、「回避と抑制」のコーピング方略を多く用いる母親ほど、育児ストレスが高い傾向にあることが考えられる。「他者を巻き込んだ情動発散」、「回避と抑制」得点とPSI「C2子どもの機嫌の悪さ」、「P3夫との関係」、「P4親としての有能さ」得点等との関連から、母親が「他者を巻き込んだ情動発散」や「回避と抑制」のコーピング方略を用いる背景に、育児への思いや夫との関係、親としての自信などが関連していると考えられた。夫や児への思いを把握することや、育児の振り返りを行う機会の提供など、母親が育児への自信を得られるよう援助することの重要性が示唆された。